

# 2019年12月期 決算説明会

2020年2月10日  
株式会社電通国際情報サービス

**iSiD**

COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU, LTD.

## AGENDA

### 第1部 2019年12月期決算概況および 2020年12月期業績予想

取締役 副社長執行役員  
上原 伸夫

### 第2部 中期経営計画（2019-2021年度）進捗

代表取締役社長  
名和 亮一

**iSiD**

COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU, LTD.

# 2019年12月期決算概況

## <注記>

- 2019年1月1日より、「エンジニアリングソリューションセグメント」は「製造ソリューションセグメント」に名称を変更いたしました。
- 株式会社電通は2020年1月1日付で株式会社電通グループに商号を変更しました。本紙における「電通グループ」は、原則として企業グループ総体を意味しています。

## (1) 2019年12月期 連結業績

### 前期比

売上高およびすべての利益項目が**2期連続**で当社グループの過去最高を更新

### 期初予想比

コミュニケーションITの計画比増収を主因に増収増益 ※1/22に業績予想修正を発表

### 期末配当

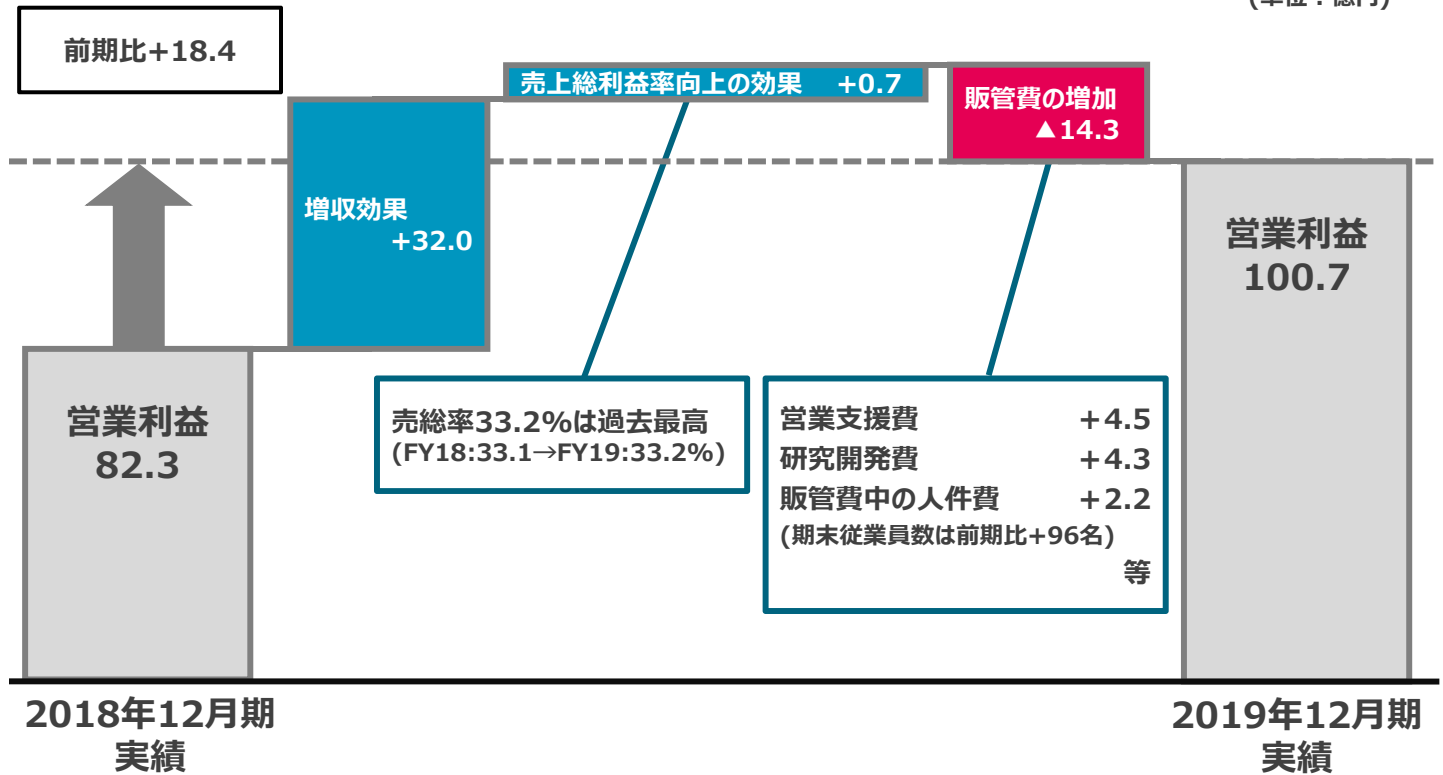
期初予想から7円増配し42円/株実施予定 (通期合計77円/株 配当性向40.3% **7期連続**増配)

(単位：百万円)

	2019年12月期	前期比			期初予想 (2019/2/8発表) 比		
		前期	増減額	増減率(%)	予想	増減額	増減率(%)
売上高	100,679	91,024	+9,655	+10.6	93,000	+7,679	+8.3
売上総利益	33,390	30,123	+3,267	+10.8	32,032	+1,358	+4.2
売上総利益率	33.2%	33.1%	+0.1p	-	34.4%	▲1.2p	-
販売費及び一般管理費	23,315	21,884	+1,431	+6.5	23,532	▲217	▲0.9
営業利益	10,075	8,239	+1,836	+22.3	8,500	+1,575	+18.5
営業利益率	10.0%	9.1%	+0.9p	-	9.1%	+0.9p	-
経常利益	9,648	8,197	+1,451	+17.7	8,408	+1,240	+14.7
親会社株主に帰属する当期純利益	6,226	5,187	+1,039	+20.0	5,683	+543	+9.6
ROE	11.8%	10.5%	+1.3p	-	-	-	-

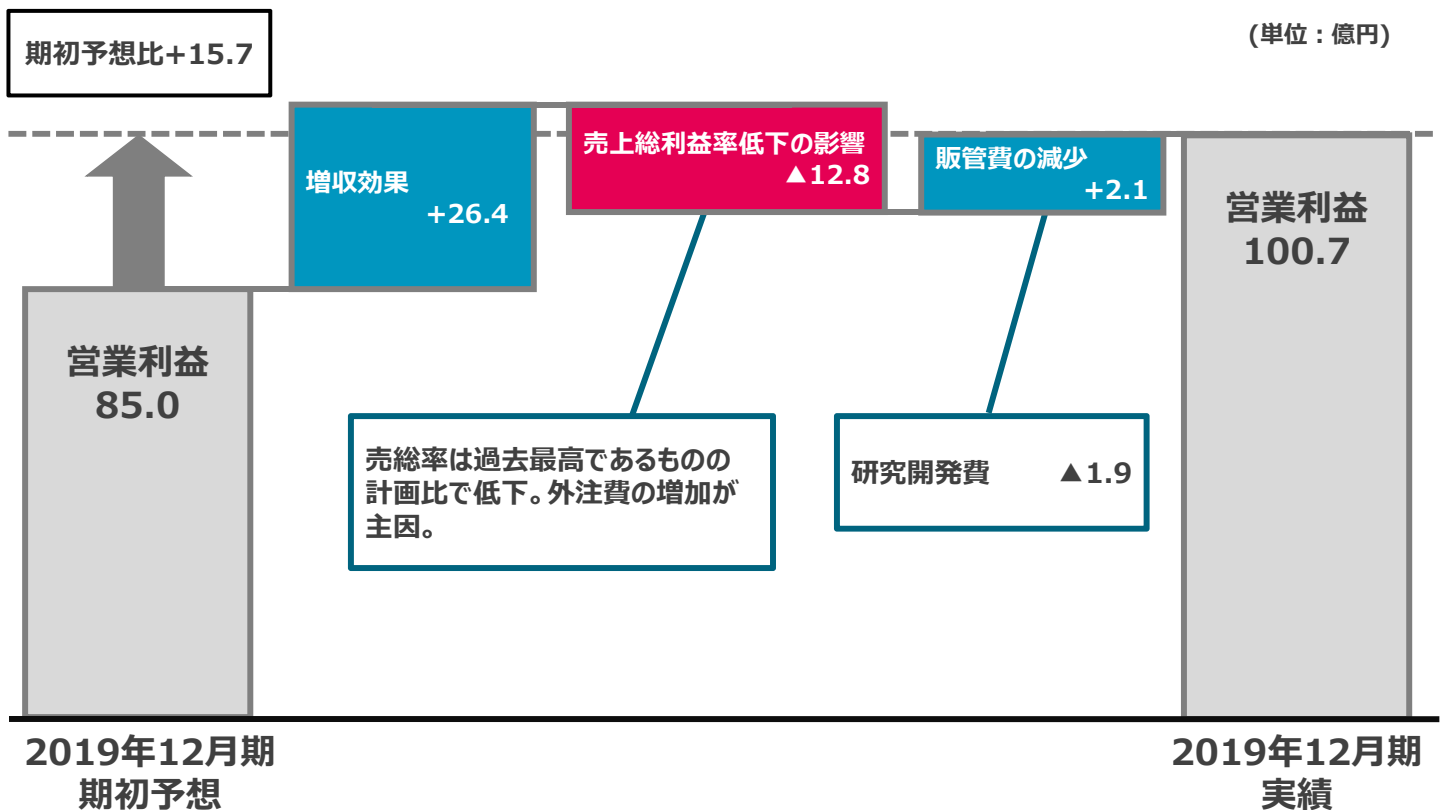
## (2)-1 営業利益の増減要因【前期比】

(単位：億円)



## (2)-2 営業利益の増減要因【期初予想比】

(単位：億円)



### (3) 事業セグメント別売上高および営業利益

(単位：百万円)

事業セグメント		2019年 12月期	前期比			期初予想比	
			増減額	増減率(%)	概況	増減額	増減率(%)
金融ソリューション	売上高	24,622	+1,380	+5.9	政府系金融機関や事業会社向け案件、事業構造改革に取り組む顧客向けサービス拡大により増収。利益は、一部案件の売上原価増等から、減益	+832	+3.5
	営業利益	1,542	▲252	▲14.0		▲819	▲34.7
	%	6.3%	▲1.4p	-		▲3.6p	-
ビジネスソリューション	売上高	19,289	+2,479	+14.7	「POSITIVE」、「STRAVIS」および会計/ERP分野におけるソフトウェアの販売・導入が拡大し、増収増益	+1,659	+9.4
	営業利益	1,741	+1,040	+148.4		+671	+62.7
	%	9.0%	+4.8p	-		+2.9p	-
製造ソリューション	売上高	30,027	+775	+2.6	「iQUAVIS」に加え、CAEおよびスマートファクトリー領域におけるソフトウェアの販売・導入が拡大し、増収。利益は、人員増により人件費が増加し、減益	▲621	▲2.0
	営業利益	2,103	▲125	▲5.6		▲179	▲7.8
	%	7.0%	▲0.6p	-		▲0.4p	-
コミュニケーションIT	売上高	26,739	+5,021	+23.1	電通グループの基幹システム領域で大型の更改案件が始まったことに加え、電通グループとの協業ビジネスが公共向けを中心に大幅に拡大し、増収増益	+5,906	+28.3
	営業利益	4,688	+1,173	+33.4		+1,903	+68.3
	%	17.5%	+1.3p	-		+4.1p	-

ISiD

※ POSITIVE・・・人事管理ソリューション STRAVIS・・・連結会計ソリューション iQUAVIS・・・MBSEソリューション CAE・・・Computer Aided Engineering  
COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU, LTD.

7

### (4) サービス品目別 連結売上高

(単位：百万円)

サービス品目	2019年 12月期	前期比			期初予想比	
		増減額	増減率(%)	概況	増減額	増減率(%)
コンサルティングサービス	6,819	+1	+0.0	金融ソリューションが減少も、コミュニケーションITが拡大し、前期並み	+486	+7.7
受託システム開発	29,153	+4,965	+20.5	金融ソリューションおよびコミュニケーションITが拡大	+3,884	+15.4
ソフトウェア製品	17,126	+2,056	+13.6	「POSITIVE」「STRAVIS」「iPLAss」「iQUAVIS」等が拡大	+1,363	+8.6
ソフトウェア商品	29,945	+2,684	+9.8	Salesforceソリューション、CAEおよび会計/ERP分野が拡大	+756	+2.6
アウトソーシング・運用保守	9,524	▲31	▲0.3	金融ソリューションが減少も、ビジネスソリューションが拡大し、前期並み	+579	+6.5
情報機器販売・その他	8,110	▲20	▲0.2	金融ソリューションが減少も、製造ソリューションが拡大し、前期並み	+612	+8.2

ISiD

COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU, LTD.

※ iPLAss・・・マーケティングプラットフォーム

8

## (5) 業種別 連結売上高

(単位：百万円)

業種	2019年12月期		前期比		
	売上高	構成比	増減額	増減率(%)	構成比増減
銀行	19,399	19.3%	+586	+3.1%	▲1.4p
その他金融	5,497	5.5%	+1,104	+25.1%	+0.6p
金融	24,896	24.7%	+1,690	+7.3%	▲0.8p
輸送機器	14,846	14.7%	+1,341	+9.9%	▲0.1p
電気・精密機器	9,105	9.0%	+49	+0.5%	▲0.9p
機械	6,518	6.5%	▲345	▲5.0%	▲1.1p
その他製造	8,191	8.1%	+985	+13.7%	+0.2p
製造	38,660	38.4%	+2,030	+5.5%	▲1.8p
サービス・公共	29,743	29.5%	+5,252	+21.4%	+2.6p
流通・他	7,380	7.3%	+682	+10.2%	▲0.0p

<ご参考：電通グループ向け売上高>

株式会社電通及び そのグループ会社	23,337	23.2%	+5,058	+27.7%	+3.1p
----------------------	--------	-------	--------	--------	-------

iSiD

COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU, LTD.

9

## (6) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2019年 12月31日	2018年 12月31日	対前期末 増減	主な増減要因
流動資産	69,728	64,668	+5,060	預け金の増加(+2,612)、仕掛品の増加(+803) 現金及び預金の増加(+619)、前渡金の増加(+554)
固定資産	17,576	15,604	+1,972	投資有価証券の増加(+1,164)、 有形固定資産の増加(+401)
資産合計	87,305	80,273	+7,032	
流動負債	29,456	26,551	+2,905	前受金の増加(+1,362)、仕入債務の増加(+829)、 未払消費税等の増加(+362)
固定負債	2,966	2,755	+211	リース債務の増加(+100)、資産除去債務の増加(+74)
負債合計	32,423	29,307	+3,116	
純資産合計	54,882	50,966	+3,916	利益剰余金の増加(+3,946)
負債純資産合計	87,305	80,273	+7,032	

iSiD

COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU, LTD.

10

## (7) 連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2019年12月期	今期の主な動き	前期比	
			2018年12月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,642	税金等調整前当期純利益 (9,185) 減価償却費 (2,531)	9,319	+1,323
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,952	関係会社株式の取得による支出 (▲2,075) 無形固定資産の取得による支出 (▲1,495) 有形固定資産の取得による支出 (▲458)	▲3,353	▲599
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲3,260	配当金の支払 (▲2,280) リース債務の返済による支出 (▲967)	▲2,564	▲696
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲68		▲134	+66
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	3,360		3,266	+94
現金及び現金同等物の期首残高	33,620		30,353	+3,267
現金及び現金同等物の期末残高	36,981		33,620	+3,360

## (8) 受注高・受注残高

受注高 : ビジネスソリューションおよびコミュニケーションITの受注が増加したことにより、2018年12月期第2四半期に獲得した政府系金融機関向け案件(65億円)の反動減をカバーし、前期比増加

受注残高 : 反動減が生じた金融ソリューションを除くすべてのセグメントが前期比増加

(単位：百万円)

		受注高		受注残高	
		2019年12月期	前期比増減率(%)	2019年12月期	前期比増減率(%)
事業セグメント別 内訳	金融ソリューション	21,597	▲27.0	8,537	▲26.2
	ビジネスソリューション	21,060	+28.3	7,367	+31.6
	製造ソリューション	30,535	▲1.6	10,726	+5.0
	コミュニケーションIT	28,561	+34.2	5,870	+45.0
サービス品目別 内訳	コンサルティングサービス	6,764	▲5.4	846	▲6.1
	受託システム開発	27,754	▲7.6	8,478	▲14.2
	ソフトウェア製品	19,225	+33.7	6,695	+45.7
	ソフトウェア商品	30,325	+4.0	11,483	+3.4
	アットレーシング・運用保守	9,544	+11.3	1,507	+1.3
	情報機器販売・その他	8,140	▲9.6	3,491	+0.9
	合計	101,755	+3.5	32,502	+3.4

## (参考) 2019年12月期第4四半期 連結業績

売上高 : 金融ソリューションにおいて大型案件の反動減があったものの、  
製造ソリューションおよびコミュニケーションITの拡大により増収

営業利益 : 販管費の増加（研究開発費+2.6億円、働き方改革に伴う支出の拡大等）により減益

(単位：百万円)

	2019年12月期 第4四半期	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率(%)
売上高	27,715	26,399	+1,316	+5.0
売上総利益	9,244	8,785	+459	+5.2
売上総利益率	33.4%	33.3%	+0.1p	-
販売費及び一般管理費	6,771	6,208	+563	+9.1
営業利益	2,472	2,577	▲105	▲4.1
営業利益率	8.9%	9.8%	▲0.9p	-
経常利益	2,108	2,521	▲413	▲16.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,066	1,398	▲332	▲23.7

## (参考) 2019年12月期第4四半期 連結業績

### <事業セグメント別>

事業セグメント		2019年 12月期 第4四半期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
金融ソリューション	売上高	6,212	▲700	▲10.1
	営業利益	241	▲319	▲57.0
	%	3.9%	▲4.2p	-
ビジネス ソリューション	売上高	5,044	▲34	▲0.7
	営業利益	82	▲263	▲76.2
	%	1.6%	▲5.2p	-
製造ソリューション	売上高	8,045	+439	+5.8
	営業利益	630	+276	+78.0
	%	7.8%	+3.1p	-
コミュニケーションIT	売上高	8,413	+1,612	+23.7
	営業利益	1,518	+202	+15.3
	%	18.0%	▲1.4p	-

### <サービス品目別>

サービス品目	2019年 12月期 第4四半期	前年同期比	
		増減額	増減率(%)
コンサルティングサービス	1,743	▲411	▲19.1
受託システム開発	7,608	+7	+0.1
ソフトウェア製品	4,758	+620	+15.0
ソフトウェア商品	8,450	+1,252	+17.4
アウトソーシング・運用保守	2,787	▲74	▲2.6
情報機器販売・その他	2,366	▲77	▲3.2

## (参考) 2019年12月期第4四半期 受注高

(単位：百万円)

		受注高			
		2019年12月期 第3四半期累計	前年同期比 増減率(%)	2019年12月期 第4四半期	前年同期比 増減率(%)
事業セグメント別 内訳	金融ソリューション	16,187	▲30.1	5,410	▲15.7
	ビジネスソリューション	16,543	+35.5	4,516	+7.4
	製造ソリューション	24,085	▲1.4	6,449	▲2.4
	コミュニケーションIT	22,883	+41.1	5,677	+12.1
サービス品目別 内訳	コンサルティングサービス	5,205	+1.4	1,559	▲22.6
	受託システム開発	22,599	▲6.7	5,154	▲11.4
	ソフトウェア製品	14,951	+38.1	4,274	+20.5
	ソフトウェア商品	23,593	+4.5	6,731	+2.0
	アウトソーシング・運用保守	7,994	+20.3	1,550	▲19.6
	情報機器販売・その他	5,357	▲19.1	2,783	+16.7
合計		79,701	+4.8	22,053	▲1.1

2020年12月期業績予想



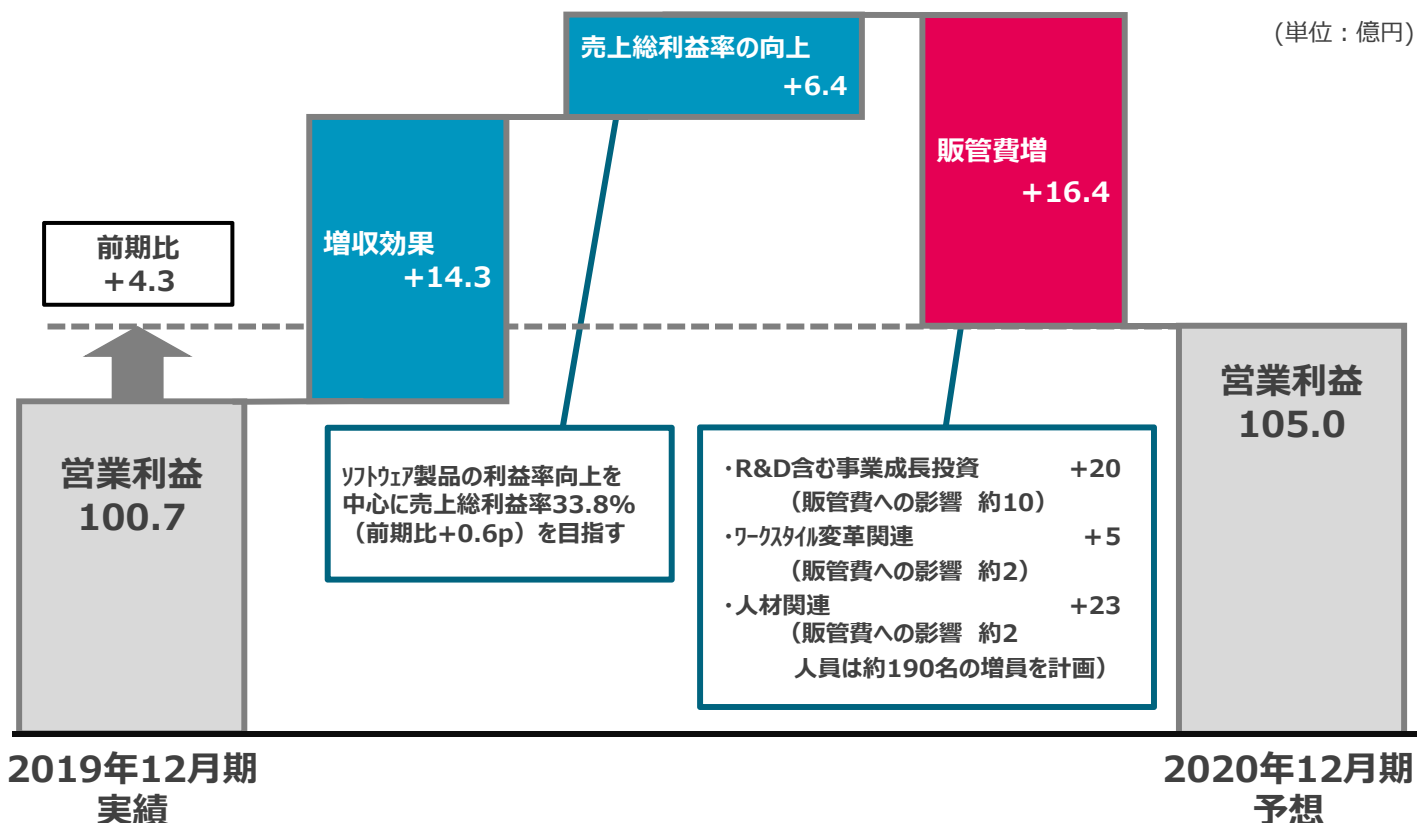
# (1) 2020年12月期 業績予想

(単位：百万円)

ポイント	通期	前期との比較			
		前期	増減額	増減率(%)	
<b>【全体観】</b> 景気動向にリスクはあるものの、DX等 戦略領域におけるIT投資は堅調。 中計最終年度(2021)に向け、 3期連続過去最高業績を目指す	売上高	105,000	100,679	+4,321	+4.3
	営業利益	10,500	10,075	+425	+4.2
<b>【売上高】</b> 既存事業の拡大に加え、セグメントを 超えるX Innovationの推進により 全セグメント増収を目指す	営業利益率	10.0%	10.0%	-	-
	経常利益	10,217	9,648	+569	+5.9
<b>【営業利益】</b> 人材と事業成長への投資を増やしつ、 営業利益率を維持し増益を目指す	親会社株主に帰属する 当期純利益	6,911	6,226	+685	+11.0
配当は1株当たり86円 (中間43円/期末43円) ~8期連続増配を目指す~	1株あたり 年間配当	86円	77円	+9円	配当性向 40.5%

# (2) 2020年12月期 営業利益の増減要因

(単位：億円)



### (3) 2020年12月期 売上高予想 <事業セグメント別>

(単位：百万円)

事業セグメント	通期	前期との比較		
		前期	増減額	増減率(%)
金融ソリューション	25,611	24,622	+989	+4.0
ビジネスソリューション	20,057	19,289	+768	+4.0
製造ソリューション	31,410	30,027	+1,383	+4.6
コミュニケーションIT	27,920	26,739	+1,181	+4.4

### (4) 2020年12月期 売上高予想 <サービス品目別>

(単位：百万円)

サービス品目	通期	前期との比較		
		前期	増減額	増減率(%)
コンサルティングサービス	6,589	6,819	▲230	▲3.4
受託システム開発	29,798	29,153	+645	+2.2
ソフトウェア製品	18,824	17,126	+1,698	+9.9
ソフトウェア商品	31,694	29,945	+1,749	+5.8
アウトソーシング・運用保守サービス	9,701	9,524	+177	+1.9
情報機器・その他	8,390	8,110	+280	+3.5

## (5) 2020年12月期上期 業績予想

(単位：百万円)

	上期 (1-6月)	前年同期との比較			通期に対する 割合
		前年同期	増減額	増減率(%)	
売上高	52,300	49,185	+3,115	+6.3	49.8%
営業利益	5,300	5,204	+96	+1.8	50.5%
営業利益率	10.1%	10.6%	▲0.5p	-	-
経常利益	5,164	5,152	+12	+0.2	50.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,450	3,412	+38	+1.1	49.9%

## (6) 2020年12月期上期 売上高予想

### ■ 事業セグメント別

(単位：百万円)

事業セグメント	上期 (1-6月)	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率(%)
金融ソリューション	12,257	12,240	+17	+0.1
ビジネスソリューション	9,884	9,572	+312	+3.3
製造ソリューション	15,857	15,140	+717	+4.7
コミュニケーションIT	14,300	12,231	+2,069	+16.9

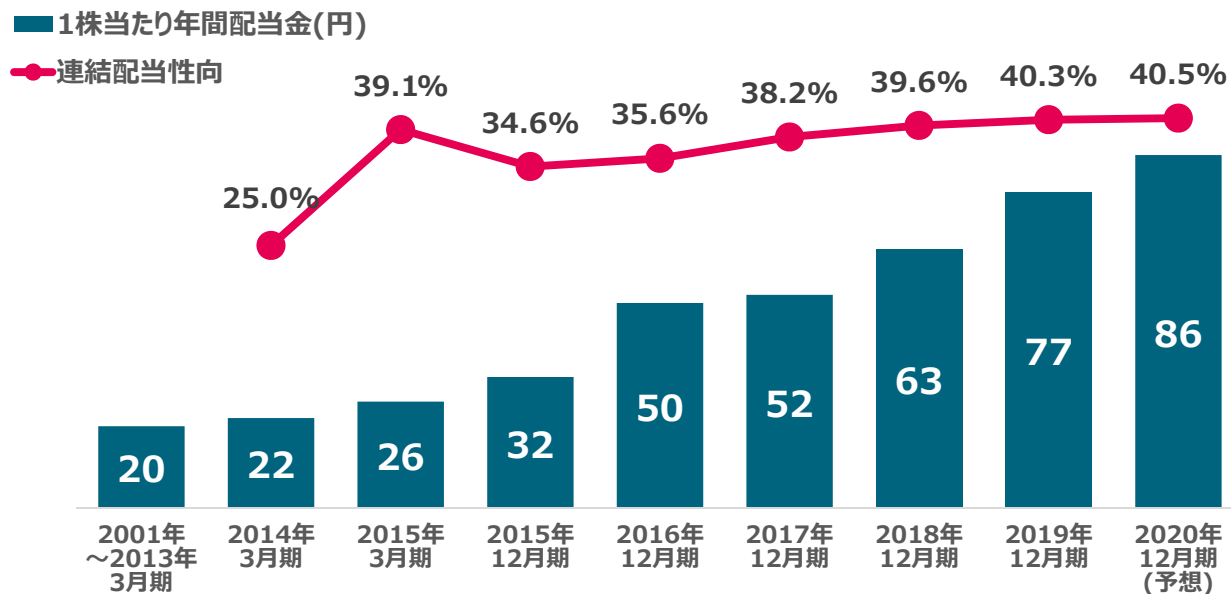
### ■ サービス品目別

(単位：百万円)

サービス品目	上期 (1-6月)	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率(%)
コンサルティング	3,346	3,597	▲251	▲7.0
受託システム開発	14,852	13,912	+940	+6.8
ソフトウェア製品	9,081	8,383	+698	+8.3
ソフトウェア商品	15,622	14,713	+909	+6.2
アットーニング・ 運用保守サービス	4,788	4,613	+175	+3.8
情報機器・その他	4,607	3,965	+642	+16.2

## (7) 配当予想

- 持続的な成長を実現するための内部留保を確保しつつ、適正かつ安定的な配当の実施を基本方針に、連結配当性向の目安は「40%以上」としている
- 今期も株主還元を重視し、下記のとおり8期連続の増配を目指す



中期経営計画（2019-2021年度）進捗

# 【再掲】 中期経営計画（2019-2021年度）

## ISiD X(Cross) Innovation 2021

テクノロジー、業界、企業、組織、地域などを超えた「X Innovation」の推進を通して、新しい価値を「協創し」、企業理念の実現を目指していく。

基本方針		定量目標	
1. 主力事業の進化	2. 新規事業の創出	2021年度 中計目標	2018年度業績を 起点としたCAGR
3. 事業基盤の革新		売上高	1,100億円
		営業利益	110億円
		営業利益率	10%
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人材力の強化</li> <li>● 先端技術への取組み加速</li> <li>● 事業支援部門の付加価値力向上</li> </ul>		ROE	12.5%
		投資計画（3カ年合計）	
		人材投資	+120億円
		研究開発費	100億円
		出資・M&A投資	100億円

## 【進捗】 サマリー

- 全セグメント増収：コミュニケーションITは前倒し達成・ビジネスソリューションも前倒し見込み
- X Innovationの着実な立ち上がり：企業のDXが本格化、10件超の新規案件創出

単位：億円、()内は前期比増加率

	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期 業績予想	2021年12月期 中計目標
金融ソリューション	232	246(+5.9%)	256(+4.0%)	270(+5.5%)
ビジネスソリューション	168	192(14.7%)	200(+4.0%)	200(-)
製造ソリューション	292	300(+2.6%)	314(+4.6%)	345(+9.9%)
コミュニケーションIT	217	267(+23.1%)	279(+4.4%)	235(-)
X Innovation	-	※売上高は 各セグメントに計上	-	50(-)
合計	930	1,006(+10.6%)	1,050(+4.3%)	1,100(4.8%)

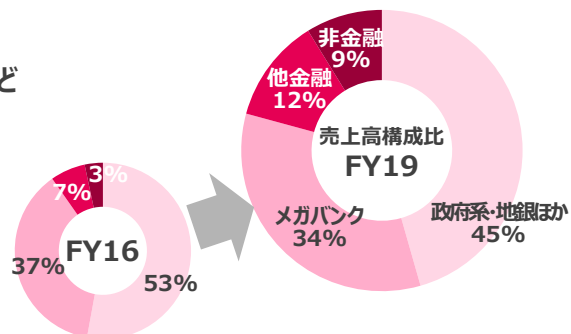
# 【進捗】金融ソリューションセグメント

## FY19の主な成果

- ✓ 新規開拓による**顧客ポートフォリオの多様化**
- ✓ 顧客の構造改革を支援する**ソリューションの拡充**
  - ～ 業務効率化のためのRPA導入サービス、
  - 新たな顧客獲得のためのチャネル改革サービスなど
- ✓ X Innovationの実践による**新規事業開発**
  - ～ 三菱地所と「(株)FINOLAB」法人化
  - ～ セブン銀行と「(株)ACSiON」設立

### 顧客ポートフォリオ (FY16 → FY19)

銀行(メガバンク、政府系、地銀ほか)の構成比が減少、  
 その他金融(+5p)、非金融(+6p)が増加



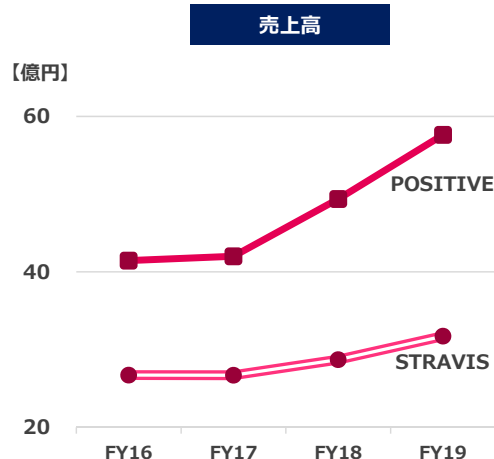
## FY20 取り組み方針

- 顧客ポートフォリオのさらなる多様化 ～ 事業会社、保険業をさらに拡大
- 金融機関の構造改革を支援する革新的なソリューション/サービスの開発

# 【進捗】ビジネスソリューションセグメント

## FY19の主な成果

- ✓ 自社製品ビジネスの成長
  - ～ **POSITIVE/STRAVIS** 売上過去最高
- ✓ 新製品開発に向けた**研究開発**の加速
  - ～ 次世代開発基盤「**aiuola**」と、その基盤で開発した会計ソリューション「**Ci\*X**」の強化拡充
    - 経費性R&D 前期比+59%
    - 資産性R&D 前期比+11%



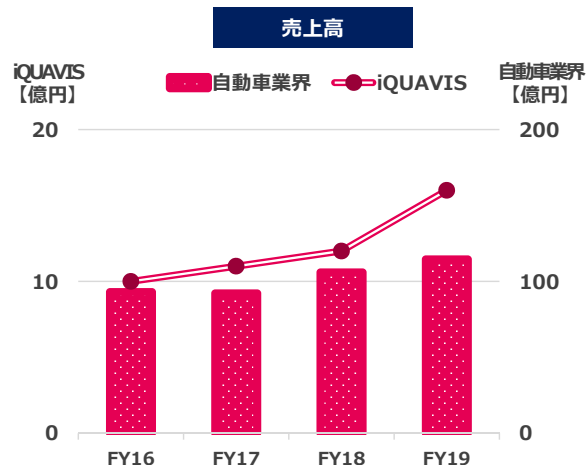
## FY20 取り組み方針

- 高まるシステム更改需要の取り込み、導入体制強化
- Ci\*Xシリーズの新製品開発
- サービス型ビジネスモデル (クラウドサービス/BPOビジネス) の本格立上げ

# 【進捗】製造ソリューションセグメント

## FY19の主な成果

- ✓ **自動車業界への深耕**  
 ~「iQUAVIS」本格活用ユーザー拡大  
 ~もの・コトづくり革新、DX支援の案件増加
- ✓ **事業領域拡大**
  - スマートファクトリー(FAプロダクツと資本提携)
  - CASE(スマートホールディングスと資本提携)
  - AI/IoTを活用する新サービス開発



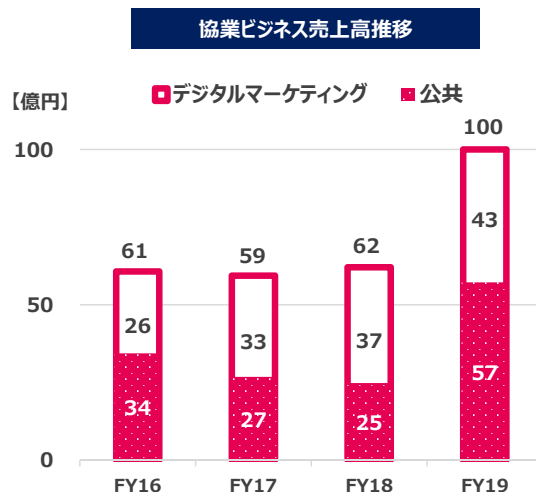
## FY20 取り組み方針

- デジタル・ソリューションの拡充 ~パートナーとの連携を強化
- 自動車業界へのさらなる注力 ~先端領域の取り組み実績を他業種へ展開
- 「iQUAVIS」の推進と定着

# 【進捗】コミュニケーションITセグメント

## FY19の主な成果

- ✓ **協業ビジネス100億円超に成長**
  - 企業向けデジタルマーケティング分野と、  
公共向けシステム構築ビジネスがともに拡大
- ✓ **RPA事業拡大**
- ✓ **MDI(※)マイデータ・バンクサービス開始**



(※) マイデータ・インテリジェンス：電通テックが設立した個人データ銀行子会社。  
 ISiDは2018年12月に資本参加

## FY20 取り組み方針

- 電通グループ各社との協業をさらに強化  
 ~電通内に「ISiD戦略部」設置(2020年1月)。電通グループ各社との接点強化/拡充

## 【進捗】Xイノベーション

### FY19の主な成果

- ✓ 「**Xイノベーション本部**」設立 ～先端技術活用とオープンイノベーションによる事業創出
  - 訪日外国人向け観光型MaaS「くるとり奈良」、鯖の目利きの職人技をAIで再現する「TunaScope」、農産物の価値をブロックチェーンで保証する「SMAGt」など
- ✓ 「**プロジェクトX**」始動 ～セグメント間連携による新規事業創出を加速
  - 決済サービスに参入する事業会社支援等

### FY20 取り組み方針

- AIへの取組強化
  - ～ **AIトランスフォーメーションセンター**設置 (2020/2/10発表)
- 新規事業創出加速
  - ～ 全社プログラム「**X Innovation Workshop**」推進



## 【進捗】事業基盤の革新

### FY19の主な成果

- ✓ **コーポレート・ガバナンス**強化
  - 独立社外取締役を**1/3**に、取締役会はより監督重視へ
- ✓ 人材投資**32%**進捗 (3カ年投資目標+120億円に対して)
  - **人員増**による人件費増のほか、採用費、教育費を増額  
2020/1/1からの給与改定決定～処遇さらに向上
  - **働き方改革**の一環でオフィスリノベーションの推進、リモートワーク環境の整備
  - 65歳定年制度の導入
- ✓ 研究開発**25%**進捗 (3カ年投資目標100億円に対して)



### FY20 取り組み方針

- 人材投資（採用/育成）、研究開発力強化の継続
- リーン・コンパクトで機動力のある事業支援体制および経営管理体制の確立



# 【進捗】 出資・M&A

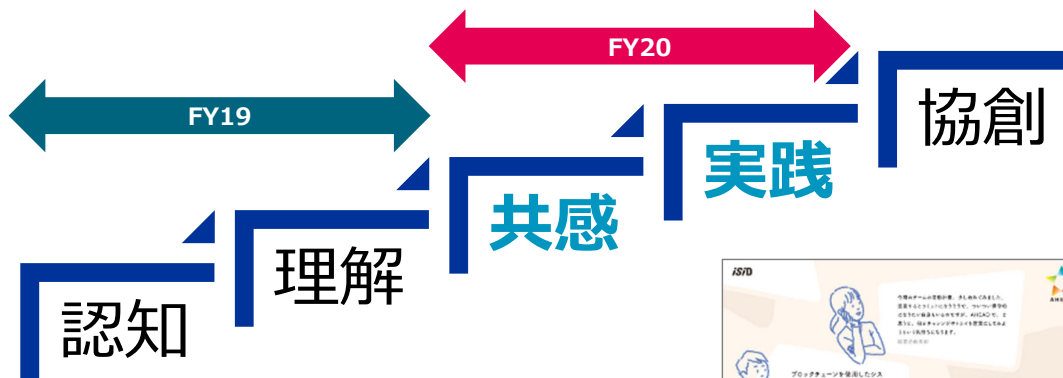
## 投資実績

✓ 出資・M&A投資**23%**進捗 (3カ年投資枠100億円に対して)

2019年度の主な出資先	目的	
PT. Ebiz Cipta Solusi	インドネシアにおける金融機関向け事業拡大	子会社化
株式会社FINOLAB	三菱地所との合併、FinTechコミュニティの強化	持分法適用 関連会社化
株式会社ACSiON	セブン銀行との合併、本人確認と不正検知サービスの提供	
株式会社FAプロダクツ	スマートファクトリー事業強化	
スマートホールディングス株式会社	自動車向けSI事業強化、CASE対応支援	
株式会社Augmentation Bridge	RPAビジネス強化	
株式会社OneMile Partners	金融領域における新規事業創出	
グローバルウォーカーズ株式会社	AI技術を用いたソリューション事業拡大	

# 新企業理念の浸透

✓ 新企業理念の浸透に向け「認知」および「理解」醸成のための各種施策を実行



「AHEADアイテム」展開



「My AHEAD」のポスター

# 企業理念

## ミッション

誠実を旨とし、テクノロジーの可能性を切り拓く挑戦者として、  
顧客、生活者、社会の進化と共存に寄与する。

## ビジョン

### HUMANOLOGY for the future

人とテクノロジーで、その先をつくる。

人を見つめ、社会の行く先をとらえ、テクノロジーの可能性を広げる。

人とテクノロジーが響きあえば、未来はもっと良くできる。

## 行動指針

### AHEAD

先駆けとなる

#### Agile

まずやってみる

#### Humor

人間魅力で超える

#### Explore

切り拓く

#### Ambitious

夢を持つ

#### Dialogue

互いに語り尽くす

## Appendix 主要プレスリリース <2019年11月~2020年2月>

2019/11/1	ISiDとALIFE Lab.、ALife（人工生命）の社会応用に向けた共同研究を開始
2019/11/6	AIによる要因分析サービス「CALC 3.0」をリリース
2019/11/8	ISiD、「iQUAVIS」の中国展開を本格化
2019/11/14	ISiDと東京大学、人工市場のシミュレーション環境をクラウド上に構築
2019/11/27	ネットプロテクションズの“後払い決済”と信審査システムを構築
2019/11/28	ISiDとSymphony、金融機関向けコラボレーションプラットフォーム「Symphony」で戦略的提携
2019/11/29	ISiD、「第3回日経スマートワーク経営調査」で4星を獲得
2019/12/4	ISiDとビープラッツ、製造業など大手のサブスクリプション事業支援で提携
2019/12/5	セブン銀行とISiDの合併会社ACSIONが不正検知プラットフォーム「Detecker」提供を開始
2020/1/7	ブロックチェーン技術で地域農産品の生産履歴と取引状況を可視化する、スマート農業データ流通基盤「SMAGt」を開発
2020/1/9	ISiDとトータルブレインケア、認知機能トレーニング&チェックツール「CogEvo」で提携
2020/1/16	ISiD、花王にソーシャルアナリティクスツール「NetBase」を提供
2020/1/24	障がい者雇用促進のための新会社「ISiDブライト」を設立
2020/1/29	ISiD、みずほ証券の顧客コミュニケーション革新に向け「Symphony」本格導入を支援
2020/2/10	AIビジネスに特化した全社横断組織「AI トランスフォーメーションセンター」を設置